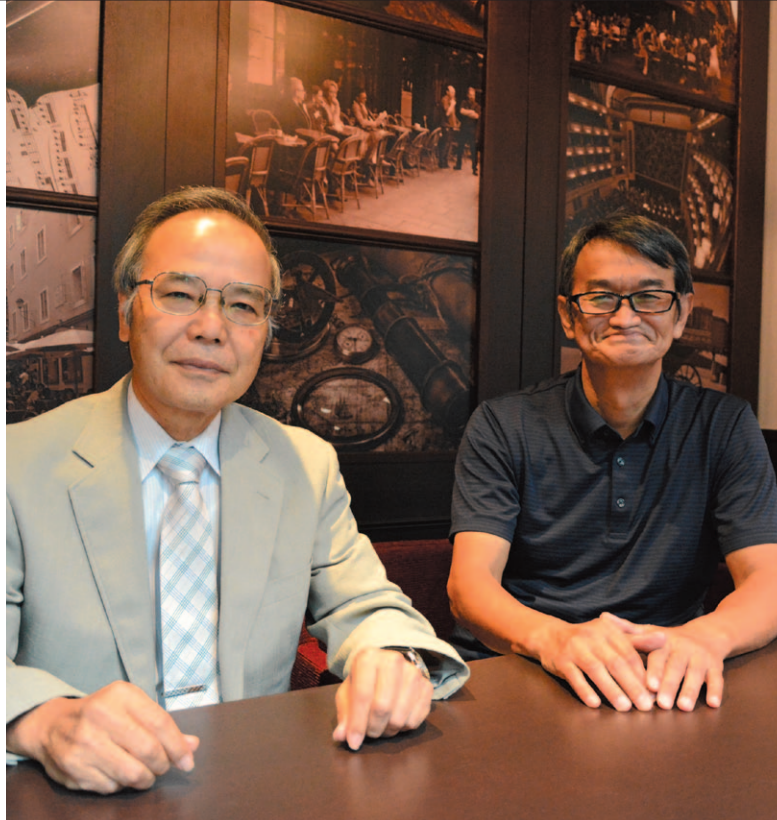


6次産業化はこれまでのイメージと異なる新しい農業です。(仲地)

沖縄の観光と農村を守るには6次産業しかありません。(加力)



仲地 宗俊 × 加力 謙一

なかち そうしゅん

かりき けんいち

琉球大学名誉教授

1946年、具志川村(現・久米島町)生まれ。首里高等学校、宇都宮大学を卒業後、九州大学大学院博士課程単位取得退学。2012年に琉球大学を定年退職後、琉球大学農学部非常勤講師等を務め、現在に至る。

株式会社アムニティ経営企画室長
1954年、宮崎県生まれ。73年来沖し、プロデューサーとして県内企業のCMなどを制作。2005年に(株)アムニティに入社し、同社の6次産業化プロジェクトに従事、現在に至る。

近頃、あちこちで「6次産業」という言葉を目にします。今回は県内6次産業の事情に詳しい琉球大学名誉教授の仲地宗俊さんが、実際に6次産業に取り組んでいる農業生産法人(株)あいあいファームの加力謙一さんに現状と今後の展望についてお聞きしました。

6次産業化の展開と課題

仲地 近年「6次産業化」という用語がいろんな分野で注目されています。これは1990年代半ばに、東京大学名誉教授の今村奈良臣氏によって提唱された考え方です。農業に農産物の加工や流通を取り込むことによって農家の所得向上を図るというもの

伝統的な沖縄の食文化を継承するために

仲地 先日「あいあいファーム」を訪問した時、若い人たちが意欲的で楽しそうに働いている姿を拝見しました。あのような意欲を持った若い人たちをどう集め、どう巻き込んでいくか。地域との連携も重要で、「あいあいファーム」のケースは廃校跡地の活用など地域との連携も進んでいる先進的な例だといえるでしょう。

加力 実は多くの卒業生や元教職員の方々が私たちの施設にいらっしやってくれます。「学校がこのように生まれ変わって良かった」と皆さんとても喜んで下さっていて、中には感動して涙を流す方もいらっしやいます。そういう時に「この事業に取り組んで良かった」とつくづく感じますね。あと、私たちが理事を務めている今帰仁村観光協会や民泊を受け入れている農家さんと連携しながら、昨年から修学旅行の生徒さんを受け入れています。最近はシンガポールや香港、台湾など海外の観光客のお客さまの利用も増えており、沖縄観光の変化を感じているところです。

仲地 かつて地域の核であった施設を利用して、地域の農業を支えていく拠点に変えていくということですね。このことは今後の6次産業化の展開の中でも重要な点だと思います。ところで、「あいあいファーム」では沖縄の食文化との関わりについてはどのようにお考えですか。

加力 沖縄の伝統的な食文化の継承をできるような6次産業でありたい、というのが私の考えです。例えば、復帰以前は沖縄にも

味噌や醤油、食用油などのメーカーがありましたが、今ではほとんど残っていません。ましてや米や小麦、大豆までほとんどが県外もしくは海外からまかなっているのが現状です。その結果として、沖縄の食文化を担っているベースの部分を県外に依存しなければいけない状況になっている。沖縄は世界一の健康長寿を誇る食文化で知られていますので、それをもう一度細かく見直して再構築することができれば立派な産業になるはずです。そのためは、やはり6次産業化以外にないと思いますね。

仲地 なるほど、沖縄の伝統的な食文化の再構築ということは大切なことですね。このことも関連しますが、冒頭で紹介しました6次産業化の基本的な考え方の中では、安全・安心・健康・新鮮・個性をベースにして消費者に美味しいものを提供するというのも提唱されています。「あいあいファーム」は有機農業も積極的に取り組んでいますね。

加力 有機農業に関しては食べてもらう方の安全と同時に、生産者自身の健康ということもあります。地域の健康を守り周辺の環境に悪影響を与えないために、農薬を使わない持続可能で循環型の有機農業にたどり着いたということですね。しかしながら大量生産が難しいという現実問題もありますので、かかった分のコストを吸収するために少しお値段を高めに設定させていただいています。そうではないと事業が継続できなくなりますから。

仲地 それは生産者と消費者との相互理解ということですね。生産者が自然の中で健康に働き、消費者にも健康になってもらうというのは、まさに先ほどの基本的な考えと重なる部分です。また、農村地域環

で、具体的には1次産業を基礎にして2次産業と3次産業を総合的に結びつけようというものです。2005年からは、農林水産省の「農林業センサス」のなかで農業生産関連事業として「農産物の加工」店や消費者に直接販売「貸農園・体験農園等」「観光農園」「農家民宿」「農家レストラン」が取り上げられるようになりました。さらに11年からは「6次産業化・地産地消法」に基づいて国が一定の要件を満たした総合化事業を認定して支援する制度がスタートしています。加力さんの会社では制度がスタートした最初の年に認定を受けられましたよね。

加力 農業生産法人株式会社あいあいファームは主に外食産業を展開している株式会社アムニティの関連会社で、廃校になった今帰仁村立湧川小中学校を活用して2011年に6次産業化地産地消法に基づく総合化計画の認定を受けております。これは「沖縄県産の小麦・米粉・大豆等を使った加工品の販売や農業体験などを実施する総合的な教育ファーム事業」という位置づけでの認定でしたが、その後は6次産業化推進事業を活用して島豆腐や味噌、沖縄そばなどの加工施設やレストランなどを整備して今帰仁村の活性化に取り組んでいます。

仲地 2010年の「農林業センサス」による

境の保全・創造という面でも同様だといえますね。

人材育成の仕組みを沖縄で

仲地 今回のお話を通していろんな課題が見えてきましたが、特に強調したいことはあります。

加力 やはり人材育成の重要性ですね。世界各地の有名なレストランを見渡してみると、価値のある料理を提供しているところのほとんどが農業との関連性を強く持っています。その強さを発揮できる人材を育成しようと、私たちの運営する「だいこんの花」の総料理長もファームに向向してもらっています。聞くところによると、県内のあるホテルチェーンでは現在建設中のホテルの前に有機農業のためのスペースを設けるそうです。これは沖縄の観光と農業をひとつにする大きなターニングポイントになる可能性を秘めており、こういう仕組みが定着すれば生産者も安心して農業に従事することができます。若い人も地元に戻ってくるでしょう。沖縄の観光と農村を守るには6次産業しかないということです。

仲地 6次産業化がこれまでの農業のイメージと異なる新しいスタイルであるということとをあらためて感じますね。6次産業化の当初の考え方を基本に、農業生産関連事業と6次産業化・地産地消法による総合化事業との連携を図ることが重要だと思います。市町村の地域づくりの中にそれを位置づけていくこともこれからの大きな課題ですね。本日はありがとうございました。

加力 こちらこそありがとうございました。

と、農業生産関連事業を営む事業体の割合で沖縄は全国で最も低くなっています。しかし、沖縄総合事務局の資料によると「6次産業化地産地消法」に基づいて認定された事業体の数は、ファンド事業を含めて総数54事業体になります。沖縄の農業規模からすると全国的に見ても多いほうだろうと思います。その一方、これまでの展開の中で課題も少なくないようです。実際に6次産業化に取り組んでこられた中での問題や課題にはどのようなものがありますか。

加力 6次産業化にあたってはいろんな課題があるといわれていますが、まずは新しい収益構造をどうつくっていくかということです。始めた頃はまったくの素人でしたので、まずは自分たちが作りたい野菜からスタートしよう。ところが、やればやるほどいろんな課題が見えるようになってきた。具体的には、加工技術の習得やその後の品質表示に関することが挙げられます。また農村には学校も含めての人材不足という問題もあります。当初は人材確保に地元雇用という部分をかなり意識したのですが、なかなか応募者が来ない。そこで、本土の就職雑誌を活用して県外の若者を集めることにしました。正直なところ親会社がなければこの事業は継続できなかったでしょう。

大道中央病院 那覇市安里1-11-37 TEL.098-869-0005 (代) 美容形成部門 TEL.098-869-0066 リハビリテーション部門 TEL.098-869-0050	医療法人 陽心会 理事長 高良 健	社会福祉法人 陽風会 高良 健	ケアハウス常夏の島 那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0036 小規模多機能型ホーム牧志 那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0025 地域交流センター牧志 那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0025 小規模多機能型ホーム三原 那覇市三原2-7 TEL.098-840-0027 地域交流センター三原 那覇市三原2-7 TEL.098-840-0027 (提携)小規模多機能型ホーム辻 那覇市辻1-6 TEL.098-951-0070 (提携)地域交流センター辻 那覇市辻1-6 TEL.098-951-0070 (提携)有料老人ホーム松風邸 那覇市辻2-10-4 TEL.098-869-8557 那覇市地域相談センター若狭 那覇市若狭3-5-17 TEL.098-863-1165 辻老人憩の家 那覇市辻2-14-1 TEL.864-0580
メディカルプラザ大道中央 那覇市宇大道123 TEL.098-886-0007 (代) 一般内科部門 TEL.098-869-0711 循環器部門 TEL.098-886-0072 糖尿病部門 TEL.098-886-0115 人工透析部門 TEL.098-886-5151 検診部門 TEL.098-886-0078	(提携)ヒルズガーデンクリニック 那覇市松川20-1 TEL.098-885-0333 (提携)ヒルズガーデン那覇 那覇市松川20-1 TEL.098-885-0300 介護老人保健施設 やすらぎの里 那覇市安里3-1-57 TEL.098-869-0030 在宅総合ケアセンター陽心会 那覇市安里381-1 TEL.098-885-0030 大道老人訪問看護ステーション 那覇市大道128 TEL.098-885-2885 グループホームたかまーみの家 那覇市安里3-1-47 TEL.941-0080 (提携)那覇市地域相談センター末吉 那覇市首里末吉4-6-1大明ビル1F TEL.098-885-0178 (提携)福祉用具貸与・販売事業所 那覇市安里128 TEL.098-885-0100	(提携)有料老人ホーム健寿の杜 那覇市安里3-1-47 TEL.098-941-0070 デイサービスセンター安里 那覇市安里388-5 TEL.098-886-0328 デイサービスセンター三原 那覇市三原1-31-20 TEL.098-840-0051 辻町若狭クリニック 那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-0012 (提携)小規模多機能型ホーム若狭 那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0550 (提携)地域交流センター若狭 那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0552 (提携)グループホーム若狭の家 那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0551 壺川老人福祉センター 那覇市壺川2-3-11 TEL.098-853-1139	